

第7款 商 工 費

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
1 商 工 業 費	円	円		
2 商工業振興費 (P160)	3,679,267,000 (5,320,510,000) 翌年度への繰越 事業費繰越額 1,451,018,000 陶磁器等工芸産 地特別支援事業 費 13,502,000 京都舞鶴港魅力 発信事業費 4,500,000 北部産業創造セ ンター(仮称) 備整費 862,000,000 けいはんなプラ ザ産業支援基盤 整備費 571,016,000	3,516,431,529 (3,718,933,437) 決算額の財源 内訳 国庫支出金 204,390,557 使用料及び手数 料 40,000 財 産 収 入 4,945,430 繰 入 金 23,223,944 諸 収 入 55,200 府 債 1,425,000,000 繰 越 金 257,996,384 一 般 財 源 1,600,780,014	商店街・商店群創生事業 (商業・経営支援課)	<p>1 施策の趣旨等 商店街創生センターが、商店街を「ストリート型」と「ネットワーク型」に分類し、芽を出し、芽を育み、具体的な活性化事業の実施、商店街TMO(タウンマネジメント機関)設立やテーマ型商店街による自立化までの各ステップに応じて伴走支援を行うなど商店街の活性化を図る。</p> <p>指標：特徴のある事業に取り組む商店街数 目標：105箇所 実績：107箇所</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 商店街創生事業</p> <p>ア 商店街創生センター活動事業 府内300商店街の「商店街カルテ」をもとに、商店街ごとの成り立ちや課題等を把握した上で、センター職員が商店街を訪問し、企画・事業づくり、情報発信、補助金活用等による支援を実施した。 訪問回数 延べ607回 情報発信 ホームページのリニューアル(Facebookページの開設等)</p> <p>イ 商店街来街者消費動向調査事業 外国人及び日本人観光客並びに京都府民の来街者の移動動向や消費動向等について、携帯キャリアによるビックデータの分析を実施した。</p> <p>(2) 地域商店街・商店群活性化支援事業</p> <p>ア 商店街元気創生事業(ストリート型) 商店が連たんする「ストリート型商店街」の自立化を促進するため、創生センター職員・民間企業・団体によるコーディネートを通じたソフト・ハード一体のパッケージ型補助、新しい商店街TMOづくりへの支援等を実施した。</p> <p>ア) 創生商店街支援事業 商店街の課題・特性に応じた活性化モデルを創出するため、創生商店街の支援団体の取組や空き店舗の活用に対して助成した。 交付件数 9件 交 付 額 29,000千円</p> <p>(イ) テーマ設定型商店街応援事業 商店街の課題の克服や強みの伸長を図るため、自らが設定したテーマに基づく活性化策の実現に向けた取組に対して助成した。 交付件数 15件 交 付 額 15,724千円</p> <p>ウ) 商店街にぎわい施設・設備整備事業 人々が集い「交流する」商店街づくりに向けた商店街の誘客・賑わい創出等を図る</p>

科 目	予算現額	決算額	主要な施策	施策の実施状況と成果等
	円	円		<p>ため、街路灯等の整備に対して助成した。 交付件数 30件 交 付 額 31,168千円</p> <p>(エ) 民間導入型TMOづくり推進事業 外部団体(民間企業・NPO)の力を導入し、商店街のTMOとなる「商店街活性化推進体制」を構築し、活性化事業を展開することにより、商店街の特色づくりを支援 支援先 古川町商店街(東山区) 峰山御旅商店街(京丹後市)</p> <p>イ 絆商店街形成事業(ネットワーク型) 店舗の空洞化が著しい「ネットワーク型商店街」の活性化を図るため、テーマで地域の個店をつなぐコーディネート活動やICTを活用した買い物弱者支援事業・空店舗改修等への補助等を実施した。</p> <p>(ア) 商店街アイデア実現プロジェクト事業 商店街の活性化を図るため、民間団体のアイデアによる商店街のにぎわい創出や来街者の増加を図る事業に対して助成した。 交付件数 8件 交 付 額 1,332千円</p> <p>(イ) 商店群活性化支援事業 過疎化・高齢化の進む商店街において、地域での買い物弱者支援の仕組みづくりを推進するため、モデル地区におけるICTを活用した買い物弱者支援のシステム構築に対して助成した。 交付件数 1件 交 付 額 4,245千円</p> <p>(ウ) 新しい商店街づくり連携支援事業 新しい商店街づくりを支援するため、店舗の空洞化が著しい中心市街地商店街において、行政・地域の諸団体・企業及び住民等と連携した中心市街地の広域的な商業活性化に取り組む事業に対して助成した。 交付団体 京都府商店街振興組合連合会 交 付 額 4,800千円</p> <p>(3) 「京都ほんまもん祭」商店街活性化支援事業 商店街への誘客促進や地域の活性化を図るため、商店街が行う祭りやお茶等の地域資源等を生かした売上向上策に対して助成した。 交付件数 12件 交 付 額 3,952千円</p> <p>3 執 行 額</p>
				131,905,507円 (うち補助金 90,221,000円) 委託料 26,962,000円)

京都地域力ビジネス支援事業
(地域力ビジネス課)

1 施策の趣旨等

府民自身がビジネス的手法により新しい仕事や働き方で地域課題を解決する「京都地域力ビジネス(京都ちーびず) = 京都式ソーシャル・ビジネス」を普及・推進することにより、継続的なまちづくりを支援し、地域の活性化を図る。

指標：地域力再生交付金支援件数 目標：60件 実績：49件

2 施策の実施状況

(1) 府民協働による京都地域力ビジネス普及事業

ア ちーびず推進員支援事業

地域力ビジネスの先駆的団体等にちーびず推進員を配置し、府民と民間団体の協働による応援プラットフォームを構築し、コーディネートや実践的支援により府全域に広くちーびず手法を普及した。

推進員 10人配置 相談件数 1,588件

イ ちーびずリレーマルシェ開催事業

府内全域にちーびず応援(共感)市場を構築するため、複数のちーびず推進拠点等でちーびずリレーマルシェ(地域特産品等の連続した共同販売会)を開催し、販売促進やちーびずのアピールを実施した。

開催回数 66回 参加者数 129,619人

(2) 応援ネットワークによる運営支援

ちーびずを継続的に支援するため、地域力ビジネスに取り組む団体等の交流・マッチングの場として応援カフェ等を開催するとともに、専門家の派遣によるハンズオン(伴走型)支援を実施した。

応援カフェ等の開催件数 18件 参加者数 607人

ハンズオン支援件数 116

(3) 地域力再生プロジェクト支援事業交付金(地域力ビジネスプログラム)

継続的なまちづくりにつながる新たな取組を創出するため、府民自身がビジネス的手法を用いて地域課題の解決に向けて取り組む実践活動に対して助成した。

	件数		金額	
	1	2	1	2
子育て支援活動	5(1)	(1)	2,893,000(300,000)	(1,300,000)
共助型福祉活動	5(0)	(0)	3,142,000(0)	(0)
地域産業おこし	23(2)	(1)	14,555,000(550,000)	(1,568,000)
地域商業の活性化	7(0)	(1)	5,529,000(0)	(1,300,000)
農村・都市交流活動	2(0)	(1)	1,266,000(0)	(320,000)
地域文化活動	4(0)	(1)	2,363,000(0)	(1,558,000)
地域行催事	1(0)	(0)	262,000(0)	(0)
その他特に認める活動	2(0)	(0)	344,000(0)	(0)
計	49(3)	(5)	30,354,000(850,000)	(6,046,000)

1は京都ちーびず立ち上げ支援プログラム(内数)

科 目	予算現額	決算額	主要な施策	施策の実施状況と成果等												
	円	円	北部産業活性化推進事業 (ものづくり振興課)	<p>2 は女性の輝き支援プログラム(内数)</p> <p>3 執行額 56,812,923円 (うち交付金 30,354,000円)</p> <p>1 施策の趣旨等 「北部産業技術支援センター・綾部」及び「丹後・知恵のものづくりパーク」を核に、北部地域における中小企業の技術の高度化やものづくり人材の育成、新分野展開に向けた取組等を支援することにより、北部地域の産業振興を推進する。</p> <table border="0" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>技術相談件数</td> <td>500件</td> <td>517件</td> </tr> <tr> <td>機器貸付件数</td> <td>720</td> <td>745</td> </tr> <tr> <td>人材育成研修の延べ受講者</td> <td>1,000人</td> <td>1,847人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 北部産業技術支援センター・綾部推進事業 中丹地域の中小企業の活性化を図るため、「北部産業技術支援センター・綾部」において、中小企業の技術力の強化・高度化への支援を実施した。 企業相談実施数 517件 各種機器の貸付 745 各種機器類に関する中小企業向けセミナーの開催 11回 参加者数 延べ44人</p> <p>(2) 北部産業活性化拠点・京丹後推進事業 丹後地域の地場産業の一層の成長と次世代の産業振興を図るため、「丹後・知恵のものづくりパーク」において、ものづくり人材の育成・確保を中心とした中小企業支援を実施した。</p> <p>ア 京都・丹後ものづくり等人材育成推進事業 技術連携やネットワーク強化など多様な手法により、地域の企業ニーズに即したものづくり技術者の育成とその高度化など、人材育成のための各種研修等を実施した。</p> <p>(ア) 丹後基盤技術担い手育成事業 金属熱処理技術基礎研修等 27講座 延べ636人</p> <p>(イ) 研修実施支援事業 シーケンス制御研修等 21 " 805</p> <p>(ウ) 人材育成確保・流入促進事業 ものづくり基礎技術習得研修等 2 " 362</p> <p>イ 丹後・知恵のものづくりパーク運営費等補助金</p>	指標	目標	実績	技術相談件数	500件	517件	機器貸付件数	720	745	人材育成研修の延べ受講者	1,000人	1,847人
指標	目標	実績														
技術相談件数	500件	517件														
機器貸付件数	720	745														
人材育成研修の延べ受講者	1,000人	1,847人														

拠点の管理運営及び人材育成会議等に要する経費について、運営主体である公益財団法人京都産業21に対して助成した。

3 執行額

144,407,885円
(うち補助金 123,565,941円)

京都クロスメディア
パーク整備事業
(ものづくり振興課)

1 施策の趣旨等

映像を核としたクロスメディア産業の育成と府内への波及を進めるため、産学公で「京都クロスメディアパーク推進会議」を創設し、この推進会議のもと、拠点の整備、人材育成、国際ネットワークの形成、府域に波及効果をもたらす事業を総合的に展開する。

指標：映画・コンテンツ産業を担う若手クリエイターの育成人数
目標：80人 実績：90人

2 施策の実施状況

(1) 産学連携拠点整備事業

人材育成・技術継承・産学共同研究開発・中小ベンチャー育成支援等の機能をあわせ持つ一大メディア産業拠点である「京都クロスメディアパーク」の形成に向け、産学公による京都クロスメディアパーク推進会議を設置し、協議・情報交換等を行うとともに、「ビジネス構築」「共同研究」のためのシンポジウムを開催した。

(2) クロスメディアクリエイター人材育成事業

映画・映像、ゲーム等のクリエイターの制作活動支援等を通じて、コンテンツ産業を担う若手クリエイターの人材育成事業を実施した。

育成者数 90人

ア KYOTO C M E X 2016開催事業

京都が持つポテンシャルを国内外に発信するとともに、クリエイターの国際的な交流、次世代のコンテンツ産業を支える人材育成等を推進するため、オール京都のコンテンツ振興イベントを開催した。

開催時期 平成28年7月～平成28年12月

開催場所 東映京都撮影所、松竹撮影所、東映太秦映画村、京都文化博物館 ほか

参加者数 約102,200人

イ 京都太秦シネマフェスティバル開催事業

太秦を基盤とした「コンテンツコミュニティ」の形成を図るため、子ども映画製作ワークショップ、歴史創作コンテンツファンが集い交流するイベント等を開催した。

開催時期 平成28年10月29日、11月12日～13日

開催場所 東映太秦映画村

参加者数 約7,500人

ウ Bit Summit 4th

日本のインディーゲームを京都から世界に発信するため、ゲーム開発チームによるブース出展、ゲームクリエイター等による講演・パネルディスカッションを開催した。

科 目	予算現額	決算額	主要な施策	施策の実施状況と成果等
	円	円	京都ブランド推進事業 (ものづくり振興課) (染織・工芸課)	<p>開催時期 平成28年7月9日～10日 開催場所 みやこめっせ(京都市勧業館) 参加者数 約6,400人</p> <p>(3) 国際ネットワーク形成事業 京都ヒストリカ国際映画祭において国内外の関連する取組との連携強化及びネットワーク形成を図り多彩なゲストによるトークショーを行うとともに、東京国際映画祭と連携したマスターズセッションを実施した。 開催時期 平成28年11月2日～13日 開催場所 京都文化博物館 参加者数 約1,600人</p> <p>(4) 映像産業等による府内活性化事業 コンテンツの活用による地域活性化と他産業への波及促進を図るため、「ロケスポット京都」運営事業においてオール京都体制で府内ロケ地の情報を一元的に発信した。 ロケ地登録数 488件</p> <p>3 執行額 42,000,000円 (うち委託料 10,000,000円) 分担金 32,000,000円)</p> <p>1 施策の趣旨等 中小企業者が自らの強みである知的財産等を積極的に活用する知的資産経営(知恵の経営)を支援し、「京都ブランド」の推進など企業価値や競争力向上を目指す取組を推進するとともに、大学との連携による老舗の「知恵の経営」を国内外に広く発信し、京都企業のブランド力や信用力の普及啓発を図る。 指標:「知恵の経営」認証件数 目標:30件 実績:14件</p> <p>2 施策の実施状況 (1) 中小企業知的資産活用推進事業 ア 知恵をいかす事業 知恵の経営実践モデル企業として認証を実施した。 認証件数 14件 イ 知恵をまもる事業 一般社団法人京都発明協会と共同で京都府知的財産総合サポートセンターを運営し、特許等知的財産権の創造、保護、活用を推進した。 相談件数 446件</p> <p>(2) 京都ブランド推進連絡協議会推進事業</p>

			<p>京都エコ・エネルギー産業創出・普及事業 (ものづくり振興課)</p>	<p>ア 京都創造者大賞の実施 創造性あふれた活動を行い、京都のイメージアップ、品格を高めるために著しく貢献している個人、団体、企業を顕彰した。 応募総数 248件 京都創造者大賞 1 京都創造者賞 4 (もてなし・環境、アート・文化、企業、未来への飛翔部門)</p> <p>イ 京都ブランドフォーラムの実施 京都の都市格の高さや京都の魅力を全国に発信するフォーラムを開催した。 開催回数 3回 参加者数 1,200人</p> <p>(3) 「京の老舗」知恵の経営発信事業</p> <p>ア 「京の老舗」知恵の経営の発信 老舗の経営における哲学や仕組みを研究し、京都ならではの知恵の経営をホームページ等で情報発信するとともに、老舗企業や研究者の相互交流及び大学と連携した講義等の学術研究事業を実施した。</p> <p>イ 「京の老舗表彰」の実施 府内において、100年以上前に創業し、現在に至るまで同一業種で経営する企業の永年の経営努力をたたえ、「京の老舗」として表彰した。 表彰企業数 20社 (累計1,906社)</p> <p>3 執 行 額 9,703,784円 (うち委託料 5,290,000円)</p> <p>1 施策の趣旨等 省エネ対策及び新たなエコ・エネルギー産業創出を、オール京都のプラットフォームである一般社団法人京都産業エコ・エネルギー推進機構を通じて、関係機関とのネットワークを活用し推進する。</p> <p>指標：研究成果等の実用化件数 目標：20件 実績：17件 指標：省エネ・環境関連の研究開発プロジェクト、エコ課題に対する助成件数 目標：70件 実績：87件</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 京フェムス推進事業 エネルギー消費の「見える化」を通じて、製造現場における生産活動の効率化を図るため、製造現場へのエネルギーマネジメントシステム(FEMS)の導入事業に対して助成した。 交付件数 9件 交付額 7,754千円</p>
--	--	--	---	---

科 目	予算現額	決算額	主要な施策	施策の実施状況と成果等
	円	円		<p>(2) エコ産業創出事業 エコ・エネルギー産業の育成を推進し、研究開発から事業化・販路開拓までをトータルにサポートすることにより、京都企業の地球温暖化防止等環境対策への取組を支援した。</p> <p>ア 京都企業グリーンイノベーション市場参入支援事業 研究開発、試作品開発、ビジネスモデルの事業化を通じて市場参入を行う中小企業等に対して助成した。 交付件数 5件 交付額 9,761千円</p> <p>イ エコ・エネ関連企業人材育成・製品認定事業 エコ・エネ製品の情報発信や市場開拓を支援するため、エコ製品を「京都エコスタイル製品」として認定する事業に対して助成した。 認定社数 9社 展示会出展数 4回 交付額 2,140千円</p> <p>(3) 組織化推進 エコ・エネルギー分野における府内企業の課題解決や活動支援を行う「エコエネ交流クラブ」の組織強化・研究事業等に対して助成した。 会員登録数 394件(353社・41団体) 研究会・セミナー 8回 参加者数 250人 交付額 4,322千円</p> <p>3 執行額 23,976,377円 (補助金)</p>
			北部リサーチパーク推進事業 (ものづくり振興課)	<p>1 施策の趣旨等 南丹・中丹・丹後地域を中心として、経営相談と技術指導等が一体となったきめ細かな支援体制により地域特性を活かした連携・交流事業等を促進するとともに、「北部産業技術センター・綾部」のリニューアルを核とする府北部産業振興の中核拠点の整備計画を推進する。</p> <p>指標：事業参加者数 目標：延べ320人 実績：延べ358人</p> <p>2 施策の実施状況 (1) 北京都ものづくり拠点構想推進事業 ア 「北京都ものづくりパーク」の運営 技術と経営を一体的に支援するため、北部産業技術支援センター・綾部に経営支援員の配置に要する費用について、公益財団法人京都産業21に対して助成した。</p>

支援企業数 延べ233社

イ 新分野進出に向けた産業技術強化支援
 北部産業技術支援センター・綾部において、中小企業の新たな分野進出をサポートするため、高度な加工技術の修得、新分野技術講習から、実践的な製品開発企画研究、試作プロジェクトへの技術支援まで、一貫した技術サポートを実施した。

試作プロジェクトの支援件数	12件	
新分野進出支援講座	1回	24人
製品開発研究会	11	延べ192
加工技術高度化セミナー	5	" 15
材料解析技術セミナー	1	9

ウ 企業イノベーションに向けた成長推進支援
 企業イノベーションに向けた成長を図るため、中小企業の自己研鑽や企業間の水平的連携、大学等との連携による技術者支援の実施について、公益財団法人京都産業21に対して助成した。

	開催回数	参加人数
大学教員等による開発・設計技術者研修	10回	延べ88人
現場カワーキング塾	2	" 21
商談会	3	" 9

(2) 南丹地域ものづくり連携・強化事業
 南丹地域のものづくり企業の成長を促進するため、専門家派遣等の実施について、公益財団法人京都産業21に対して助成した。
 専門家派遣件数 延べ537件

(3) 北部リサーチパーク構想の推進
 北部ものづくり企業の成長支援、共同研究開発の推進、新産業の創出、高度な人材育成等の拠点となる「北部産業創造センター(仮称)」に係る構想を推進するため、センター運営経費等について専門事業者による調査を実施した。

3 執行額 8,980,404円
 (うち補助金 6,000,000円)

丹後新時代産業育成事業
 (ものづくり振興課)

1 施策の趣旨等
 丹後の機械金属企業と織物企業との協働による新たな丹後産業の創出を目指し、丹後の力を結集したFRP(繊維強化プラスチック)分野への参入プロジェクトを支援する。

指標：研究会・勉強会などへの参加者数 目標：延べ75人 実績：延べ88人

2 施策の実施状況
 織物・機械金属振興センターにおいて技術相談指導、販路開拓活動を実施した。

(1) 技術相談指導
 先端複合材料の研究開発・試作、企業に対する技術指導を実施するとともに、技術習得

科 目	予算現額	決算額	主要な施策	施策の実施状況と成果等																
	円	円	産学公連携共同コーディネート推進事業 (ものづくり振興課)	<p>につながるセミナーを開催し、FRP試作研究会を開催した。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">技術セミナー</td> <td style="width: 10%;">6回</td> <td style="width: 10%;">参加者数</td> <td style="width: 20%;">延べ34人</td> </tr> <tr> <td>試作会</td> <td>54</td> <td>参加企業数</td> <td>54社</td> </tr> <tr> <td>技術指導</td> <td>5</td> <td>参加企業数</td> <td>5</td> </tr> </table> <p>(2) 販路開拓活動 商品のPRや研究会の取組を情報発信するため、展示会へ出展した。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">展示会出展</td> <td style="width: 10%;">1回</td> <td style="width: 10%;">参加企業数</td> <td style="width: 20%;">6社</td> </tr> </table> <p>3 執行額 992,257円</p> <p>1 施策の趣旨等 京都が誇る大学シーズを生かした、中小企業のイノベーション創出を図るため、大学の優れた研究シーズを中小企業に技術転換する効果的な仕組みづくりの実施など、オール京都によるコーディネート活動を推進する。</p> <p>指標：国プロジェクト等の獲得件数 目標：5件 実績：7件</p> <p>2 施策の実施状況 大学の優れた技術シーズを、府内企業の事業化に活用するため、オール京都の産学公連携基盤である「京都産学公連携機構」が実施するスーパーコーディネータの配置や文理融合・文系分野における研究を推進するグループへの助成事業など、シーズ発掘から製品化まで一貫支援する取組に対して助成した。</p> <p>(1) スーパーコーディネータによる支援 個別企業相談対応 25件</p> <p>(2) 文理融合・文系産学連携促進事業 交付件数 4件 交付額 2,400千円</p> <p>(3) 京都産学公連携フォーラム 「京都ビジネス交流フェア」と同時開催 開催時期 平成29年3月1日～2日 開催場所 京都府総合見本市会館（京都パルスプラザ） 開催内容 基調講演 参加者数 211人 分科会 " 331 ブース展示等</p> <p>(4) 社会・文科系産学連携プロジェクト事業</p>	技術セミナー	6回	参加者数	延べ34人	試作会	54	参加企業数	54社	技術指導	5	参加企業数	5	展示会出展	1回	参加企業数	6社
技術セミナー	6回	参加者数	延べ34人																	
試作会	54	参加企業数	54社																	
技術指導	5	参加企業数	5																	
展示会出展	1回	参加企業数	6社																	

			<p>京都エコノミック・ガーデニング支援強化事業 (生活衛生課 ものづくり振興課 観光振興課)</p>	<p>「知財活用アイデアコンテスト(関西大会)」開催 開催時期 平成28年11月6日 開催場所 京都銀行 金融大学校 桂川キャンパス 発表者 6大学16チーム 来場者 135人</p> <p>3 執行額 5,500,000円 (補助金)</p> <p>1 施策の趣旨等 公益財団法人京都産業21を通じて京都経済の原動力である中小企業の成長・発展に向け、製造業から小売サービス業までを対象に、オール京都で組織する中小企業応援隊等が、事業計画策定段階から本格展開まで伴走型により一貫支援を行う。</p> <p>指標：事業創生、研究開発、販路開拓、事業化に伴う設備投資の取組件数 目標：46件 実績：74件</p> <p>2 施策の実施状況 (1) 京都エコノミック・ガーデニング支援強化事業 支援メニューをパッケージ化し、各企業に応じた最適な育成メニューを提供することにより、事業計画から設備投資まで、あらゆる段階からのチャレンジを助成支援した。</p> <p>ア 事業創生型 自社独自の強みを活かし、新商品・新サービス・新ビジネスモデル等の開発や新分野進出等の新規事業に取り組む中小企業等を支援するため、新規事業計画の見極めのための市場調査等に対して助成した。</p> <p>イ 試作・開発等型 自社独自の強みを活かし、本格的な製品開発(試作段階から応用・生産技術開発)を目指す中小企業等を対象に、段階に応じた研究開発に対して助成した。</p> <p>ウ 販路開拓・設備投資等型 自社独自の強みを活かし、新商品・サービス・ビジネスモデル等の開発、新分野進出等の新規事業に取り組む中小企業等を支援するため、新規事業に関する需要開拓の取組や、生産・販売・サービス提供のための設備導入に対して助成した。 交付件数 74件 交付金額 522,400千円</p> <p>(2) R & D集積形成促進事業 京都イノベーションベルト構想の推進のため、「けいはんなオープンイノベーションセンター(KICK)」に拠点を設置する大学等研究機関や中小企業などが取り組む研究開発の加速化・早期事業化に対して助成した。 交付件数 11社 交付金額 6,810千円</p>
--	--	--	--	--

科 目	予算現額 円	決算額 円	主要な施策	施策の実施状況と成果等																					
			<p>「企業の森」推進事業 (ものづくり振興課)</p>	<p>(3) 京都府公衆浴場設備改善事業 公衆衛生の維持及び増進に不可欠な公衆浴場の経営を支援するため、浴場業用の設備改善に対して助成した。 交付件数 12件 交付金額 5,000千円</p> <p>(4) 旅館等受入環境整備事業 旅館等の宿泊施設の経営を支援するため、訪日外国人観光客の受入等のために実施する施設改修に対して助成した。 交付件数 13件 交付金額 9,324千円</p> <p>3 執行額 546,034,000円 (うち補助金 543,534,000円)</p> <p>1 施策の趣旨等 公益財団法人京都産業21を通じて企業グループの新たな事業展開、国内外への販路開拓をしっかりと後押しし、新たな産業文化を創生する。 指標：プロジェクト創出件数 目標：20件 実績：51件</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 「企業の森」推進事業 高付加価値の製品・サービスを創出し、新たな産業文化を創生する企業群 (= 企業の森) の形成を図るため、企業のグループ形成から、製品等の試作・研究開発、実用化に向けた市場開拓、生産設備投資等を一環して支援する助成事業を実施した。</p> <table border="1" data-bbox="1108 970 1758 1197"> <thead> <tr> <th>分野</th> <th>交付件数</th> <th>交付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>次世代ものづくり産業</td> <td>16件</td> <td>322,371千円</td> </tr> <tr> <td>スマートシティ関連</td> <td>6</td> <td>31,068</td> </tr> <tr> <td>伝統産業関連</td> <td>9</td> <td>25,414</td> </tr> <tr> <td>京の食産業関連</td> <td>2</td> <td>26,250</td> </tr> <tr> <td>映画・映像関連</td> <td>6</td> <td>78,931</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>39</td> <td>484,034</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 地域産業育成産学連携推進事業 スマートコミュニティ形成に係る京都の中小企業が参画した産学連携による本格的な研究開発プロジェクトを組成するため、研究開発計画づくり等に対して助成した。 交付件数 10件 交付額 47,700千円</p> <p>(3) 京都イノベーション創出ネットワーク運営事業 公益財団法人京都産業21が運営する「京都イノベーション創出ネットワーク」による共</p>	分野	交付件数	交付額	次世代ものづくり産業	16件	322,371千円	スマートシティ関連	6	31,068	伝統産業関連	9	25,414	京の食産業関連	2	26,250	映画・映像関連	6	78,931	計	39	484,034
分野	交付件数	交付額																							
次世代ものづくり産業	16件	322,371千円																							
スマートシティ関連	6	31,068																							
伝統産業関連	9	25,414																							
京の食産業関連	2	26,250																							
映画・映像関連	6	78,931																							
計	39	484,034																							

			<p>エコノミック・ガーデニング推進センター運営事業 (ものづくり振興課) (染織・工芸課)</p>	<p>同研究プロジェクトの創出支援や研究開発サポート体制を構築する事業に対して助成した。 会員企業数 192社 実施事業 特許調査、市場動向調査、システム運用保守等 交付額 26,000千円</p> <p>(4) 健康創出産業振興事業等 中小企業との健康創出産業分野への進出やウエルネスベンチャーの育成を支援するため、京都大学・府立医科大学等の関係大学、府、京都市等で構成する「京都ウエルネス産業コンソーシアム」が実施するコンソーシアム共同研究交流支援事業に対して助成した。 実施事業数 2事業 交付額 1,000千円</p> <p>3 執行額 674,679,000円 (補助金)</p> <p>1 施策の趣旨等 中小企業の販売拡大・成長分野進出等を戦略的に支援する「エコノミック・ガーデニング推進センター」を核として、ものづくりから小売サービスまで、試作・開発、販路開拓、設備投資を伴走一貫支援する「エコノミック・ガーデニング」方式による支援体制を強化する。</p> <p>2 施策の実施状況 販売拡大・成長分野進出等を支援する部会を運営し、中小企業の育成支援体制を強化した。</p> <p>(1) 福祉・健康・医療部会 中小企業応援隊と府等がチームを組み、府等の有するルートも活用しながら、府内中小企業が製造した福祉用具・医療機器等の販路開拓を実施した。 広報・販路開拓等支援企業数 62社</p> <p>(2) クール京都部会 ア 中小企業応援隊と府等がチームを組み、府等の有するルートも活用しながら、府内中小企業が製造する京もの工芸品等の販路開拓等を支援した。 広報・販路開拓等支援企業数 11社 イ 京もの工芸品の国内外販路開拓事業を実施する機関の連携に向け、情報の交換・共有を実施した。 参加機関 京都府、京都市、京都商工会議所等</p> <p>(3) 食品部会 中小企業応援隊と府等がチームを組み、京の農業応援隊とも連携した食品関係企業の支援体制を構築するとともに、食品関係企業の広報・販路開拓等を支援した。 広報・販路開拓等支援企業数 84社</p> <p>3 執行額 2,950,544円</p>
--	--	--	--	--

科 目	予算現額	決算額	主要な施策	施策の実施状況と成果等
	円	円	<p>チャレンジバイ促進事業 (ものづくり振興課) (特別支援教育課)</p> <p>ソフト知恵産業支援事業 (ものづくり振興課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 福祉・健康・医療分野に進出しようとする中小企業の販路開拓を府の関係部局・機関が連携して強力に支援する。</p> <p>指標：新商品の販路開拓支援数 目標：30件 実績：30件</p> <p>2 施策の実施状況 (1) 商談会等によるマッチング機会の拡大 日本リハビリテーション学会の製品展示会に出展 出展期間 平成28年6月9日～12日 出展会場 京都国際会館イベントホール 参加企業数 12社 (2) 京都チャレンジ・バイ認定商品導入促進補助金等 中小企業の製造する優れた商品の販路拡大を促進するため、チャレンジバイ認定商品を購入する者に助成した。 交付件数 18件 交付額 8,000千円</p> <p>3 執行額 9,963,972円 (うち補助金 7,028,000円)</p> <p>1 施策の趣旨等 新たに多様な中小企業を育成するため、これまで支援してきたものづくり分野に加え、サービス業や地域密着型の開業を支援する。</p> <p>指標：本事業で整備したコワーキングスペースを利用して開業を目指す起業家支援 目標：20人 実績：24人</p> <p>2 施策の実施状況 多様な業種のコワーカーやクリエイターによる様々な交流とコラボレーションから、新たなビジネスチャンスが次々と創出される場づくりを推進するため、現代の多様なワークスタイルに対応するコワーキングスペース等を備えたインキュベーション施設「西陣産業創造會館」の運営経費について、特定非営利活動法人京都西陣町家スタジオに対して助成した。 コワーキングスペース利用者数 1,008人(うち起業家支援数24人) 創業支援セミナー開催数 11回 創業支援セミナー参加者数 331人</p>

			<p>きょうと健康長寿・未病改善センター事業 (ものづくり振興課)</p>	<p>3 執行額 18,000,000円 (補助金)</p> <p>1 施策の趣旨等 京都大学内に設置した京都イノベーション推進拠点を活用し、大学シーズと中小企業が有する技術とのマッチング活動等を実施するなど、研究室密着型の取組を強化する。</p> <p>指標：未病改善産学公研究チーム組成 目標：3チーム 実績：4チーム</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 未病改善産学公研究チーム組成 未病改善につながる健康産業の創出と地域の健康課題を解決するため、きょうと健康長寿・未病改善センターを平成27年5月に開設し、産学公連携による研究チームを組成した。 組成チーム数 4チーム</p> <p>(2) 産学連携に向けたシーズ発掘業務 大学の産学連携部門、知財部門等との連携により研究シーズのヒアリングを実施した。</p> <p>3 執行額 7,806,311円 (うち委託料 6,796,591円)</p> <p>1 施策の趣旨等 地域の健康ビッグデータを大学等研究機関で分析・調査することにより、地域の健康課題を見える化し、課題解決に資する企業の製品開発等を支援する。</p> <p>指標：ヘルスケア関連事業計画認定 目標：3件 実績：5件</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 健康ビッグデータ等の分析・調査 ヘルスケア産業の創出を図るため、府民の健康ビッグデータ等から健康に関する行動や意識について分析・調査を実施した。</p> <p>(2) ヘルスケア関連事業計画の認定 健康ビッグデータ等の分析結果をもとに、健康課題解決に資する中小企業の事業計画を公募・認定した。</p> <p>3 執行額 9,318,648円 (うち委託料 8,877,600円)</p>
			<p>ヘルスケア産業創出事業 (健康対策課) (ものづくり振興課)</p>	

科 目	予算現額	決算額	主要な施策	施策の実施状況と成果等
	円	円	<p>京都知恵産業フェア 2016開催事業 (ものづくり振興課)</p> <p>けいはんなオープンイ ノベーションセンター 活用推進事業 (ものづくり振興課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 京都産業育成コンソーシアムが中心となり、府、京都市、京都商工会議所がこれまで個別に取り組んできた首都圏での販路開拓事業を一元化して実施し、中小企業の販路開拓を強力にサポートする。</p> <p>指標：展示商談会来場者数 目標：900人 実績：991人</p> <p>2 施策の実施状況 新しい京都ブランドを発信するため、伝統産業とハイテク産業が融合した商品等を揃え、首都圏のバイヤーやメディアを対象とした展示商談会「京都知恵産業フェア」を開催した。 開催期間 平成29年2月23日～24日 開催場所 渋谷ヒカリエ Hikarie Hall (東京・渋谷) 出展者数 109社 バイヤー等来場者数 991人</p> <p>3 執行額 10,000,000円 (分担金)</p> <p>1 施策の趣旨等 「けいはんなオープンイノベーションセンター(KICK)」への、多彩な共同研究プロジェクト集積等を目的とした取組を推進する。</p> <p>指標：KICKにおける共同研究プロジェクト数(累計) 目標：20件 実績：22件</p> <p>2 施策の実施状況 (1) KICKへのプロジェクト等の集積を促進するため、国内外の研究者をはじめ企業や大学等に対するプロモーションを実施した。 プロジェクトの集積数 22件 (2) KICKについて、公益財団法人京都産業21への無償貸付による管理運営を助成するとともに、現行機能の維持・回復に必要な修繕等を実施した。</p> <p>3 執行額 142,414,076円 (うち補助金 68,949,744円)</p>

			<p>匠の公共事業 (染織・工芸課) (観光政策課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 京都の和装・伝統産業は、日本の文化を支え、世界に誇りうる府民共有の財産であることから、京都府伝統と文化のものづくり産業振興条例に基づき、和装・伝統産業の基盤づくり（人材育成・技術継承、新たなものづくりの推進、需要基盤形成のための普及啓発）を積極的に推進する。</p> <p>指標：職人さん延べ雇用人数 目標：3,500人 実績：3,047人</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) ひとづくり 京都未来の匠「技の継承」事業 京の名工等と若手職人が協働して行う祇園祭や社寺等の貴重な文化資料の復元新調事業に対して助成した。 交付件数 7件 交付額 14,070千円 事業内容 役行者山胴掛の修理及び水引の復元ほか</p> <p>(2) 仕事づくり 「京の職人さん」仕事づくり推進事業 職人の仕事づくりを推進するため、伝統産業の技を生かした記念品の制作や実演等を実施した。 実雇用人数 313人（延べ雇用人数 3,047人）</p> <p>(3) 環境づくり ア 「きものの似合うまち・京都」づくり推進事業 「きものの似合うまち・京都」の定着と和装需要の拡大を促進するため、「きものパスポート」を発行した。 パスポート発行部数 7万部 パスポート特典件数 480件 イ 若年者きものライフスタイル推進事業 伝統文化の普及及び学習を推進するため、学生によるイベントや茶道・華道の学習等の伝統文化に関連する教育活動と連携したきもの着付け講座等に対して助成した。 交付件数 14件 交付額 1,420千円 きもの着付け講座参加生徒数 1,462人 ウ 「京の伝統・食と文化」魅力発信事業 府内地場産品の普及宣伝及びその需要開拓を図るため、府内の異業種の組合等が共同で開催する物産展に対して助成した。 開催期間 平成28年9月7日～12日 開催場所 大丸京都店 出店数 82社（工芸29社、食品53社） 参加者数 216,273人</p>
--	--	--	--	---

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円	<p>伝統産業生産基盤支援事業 (染織・工芸課)</p>	<p>3 執行額 53,506,977円 (うち補助金 41,080,000円)</p> <p>1 施策の趣旨等 伝統産業の生産基盤を支える織物産地等における設備投資を支援する。 指標：支援件数 目標：180件 実績：245件</p> <p>2 施策の実施状況 伝統産業の中小企業や産地組合が実施する商品開発・生産体制の強化等に必要な生産設備の新設・改修、伝統的技法に基づく製造に必要な道具類の確保等に対して助成した。 交付件数 245件 交付額 117,843千円</p>
			<p>次世代職人育成事業 (染織・工芸課 産業立地課 商業・経営支援課 人づくり推進課)</p>	<p>3 執行額 117,843,000円 (補助金)</p> <p>1 施策の趣旨等 伝統産業の若手職人を育成するため、新たなものづくりが生まれる場として「京都職人工房」を府内5か所で展開するとともに、試作開発、国内外の販路開拓までを伴走型で一貫支援する。 指標：5つの職人工房とマーケットルートとのマッチング・商品改良 目標：200件 実績：254件</p> <p>2 施策の実施状況 (1) 職人工房の展開 若手職人等へ活動の場を提供することにより、異分野との交流促進、商品の試作や国内外の販路開拓機会の創出を支援した。 ア 京都職人工房・西陣 伝統産業の職人と飲食事業者との交流を図るため、コラボレーションによる商品開発を行うとともに、堀川団地の空き店舗を活用して、若手職人の作品展示を実施した。 展示数 13作品 イ 京都職人工房・新光悦村 木工・陶磁器職人とスポーツなど異分野との交流を図るため、コラボレーションによる工芸作品の体験イベントを行うとともに、「移動可能な職人工房」のイベントでの活</p>

用、京都伝統工芸大学の生徒による作品展示を実施した。

使用日数 延べ69日

内 容 「森の京都」関連イベントにおける木工体験教室、工芸品の展示販売

ウ 京都職人工房・丹後

織物、染物職人と洋装デザイナーの交流を図るため、フランスからディレクター、デザイナーを招き、世界市場に対応する商品開発、販売戦略を実施するとともに、織物の各工程に精通した多能工職人を育成する人材育成研修を実施した。

交流事業参加企業数 10社

受講者数 延べ500人

エ 京都職人工房・清水

陶磁器職人と和食料理人との交流を図るため、府立陶工高等技術専門校創立70周年記念事業と併せて、陶磁器と和食など異業種交流となる講演会等を実施した。

開催回数 2回

参加者数 延べ260人

オ 京都職人工房・K R P

工芸職人とハイテク産業との交流を図るため、シェアオフィスの活用による研修プログラムを実施した。

プログラム数 8件

参加者数 50人

(2) 次世代職人新商品づくり支援事業

次代を担う職人が挑戦する異業種交流を通じた新たな商品の試作開発・設備投資に対して助成した。

交付件数 41件

交付額 7,952千円

(3) 京ものクオリティ市場創出事業

国内外での販路開拓を目指す事業者が、国内外の市場に精通したプロデューサー等との連携のもと、首都圏の百貨店等での販売スペースの設置、海外の販売代理店を通じたマーケット開拓、マーケットニーズを踏まえた商品開発を支援した。

支援件数 44件

(4) クラフトアワード・ウィークの開催

伝統工芸を礎とする新たなマーケットの醸成と次世代のものづくりの推進を図るため、若手職人の商品コンテストやトークセッション等を実施した。

ア クラフト・コンペティション

応募作品数 10点

イ KOUGEI NOW

若手職人による課題共有トークセッションの開催や製作実演・商品展示等

開催期間 平成28年12月8日、18日、22日、平成29年2月16日～28日

開催場所 京都駅前地下街ボルタ、ホテルアンテルームほか

若手職人参加数 延べ200人

科 目	予算現額 円	決算額 円	主要な施策	施策の実施状況と成果等
			京都産業立地促進事業 (産業立地課)	<p>(5) 京都文化フェア・マーケット開拓支援事業 京都文化力プロジェクト(=旧名称 京都文化フェア)の開催に合わせて、商店街団体等が「文化」をテーマに実施する販促事業に対して助成した。 交付件数 8件 交付額 2,934千円</p> <p>3 執行額 136,668,524円 (うち補助金 36,716,200円 委託料 66,411,284円)</p> <p>1 施策の趣旨等 京都府雇用の安定・創出と地域経済の活性化を図るための企業の立地促進に関する条例及び京都府伝統と文化のものづくり産業振興条例に基づき、税の特例措置や低利融資制度と併せて、補助制度の効果的な活用により、地域特性に応じた戦略的な企業誘致及び雇用創出を推進する。 指標：誘致件数 目標：40件 実績：45件</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 京都産業立地戦略21特別対策事業 地域特性に応じた企業誘致を促進するため、企業の施設整備や地元雇用に対して助成した。 交付企業数 33企業 交付額 1,110,363千円 投下固定資産額 14,584,641 新規地元雇用者数 514人</p> <p>(2) 伝統と文化のものづくり産業振興補助事業 伝統と文化のものづくり産業の集積や府内での新規企業立地を促進するため、企業の地元雇用に対して助成した。 交付企業数 1企業 交付額 700千円 新規地元雇用者数 7人</p> <p>(3) 企業立地促進開拓員設置運営事業 企業情報の収集、戦略的な企業誘致を促進するため、本社機能が集中する首都圏に企業立地促進開拓員を設置し、企業訪問等の誘致活動を実施した。 新規訪問企業数 506社 延べ訪問企業数 512</p>

			<p>京都舞鶴港ランドブリッジ構想推進事業 (経済交流課)</p>	<p>3 執行額 1,139,289,062円 (うち補助金 1,113,628,000円)</p> <p>1 施策の趣旨等 日本海側拠点港である京都舞鶴港において、国際海上コンテナ航路の拡充、国際フェリー航路の開設及び外航クルーズの誘致に向けたソフト・ハード一体となった事業を推進することにより、京都舞鶴港のゲートウェイ機能の強化を図る。 指標：コンテナ取扱量 目標：15,000TEU 実績：11,493TEU</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 国際クルーズ誘致事業 京都舞鶴港、小樽港、伏木富山港、秋田港、境港の5港で組織する「環日本海クルーズ推進協議会」による海外船社幹部招請の共同プロモーション等に対して助成した。 寄港回数 18回 旅客数 22,400人</p> <p>(2) 京都舞鶴港魅力発信事業 京都舞鶴港・金沢港合同PR事業 京都舞鶴港での乗船客を増やすため、一般社団法人京都舞鶴港振興会、舞鶴市、石川県、金沢市と共同で3大都市圏(東京、大阪、名古屋)におけるセミナーに対して助成した。 開催回数 3回 参加人数 750人</p> <p>(3) コンテナ15,000TEU実現事業 航路の拡充、貿易の拡大等を図るため、一般社団法人京都舞鶴港振興会が行うポートセールス等の事業に対して助成した。</p> <p>ア コンテナ貨物等の集荷及びポートセールスの実施 コンテナ取扱量 平成28年 11,493TEU</p> <p>イ 京都舞鶴港トライアル利用促進特別支援事業の実施 北近畿に立地する事業者を中心に外国貿易貨物の京都舞鶴港でのトライアル利用を促すため、貿易取扱事業者の取扱コンテナに対して助成した。 支援状況 10,798TEU</p> <p>ウ 京都舞鶴港の物流戦略 京都舞鶴港を西日本におけるバルク貨物集積の拠点港とするため、貿易取扱事業者の取扱貨物に対して助成した。 支援状況 19,719トン 24,093㎡</p> <p>エ 京都舞鶴港セミナーの開催 開催回数 2回 参加者数 270人</p> <p>オ 港湾関連用地等への企業誘致の強化 港湾関連用地等へ企業を誘致するため、関連市と連携し、企業訪問活動を実施した。</p>
--	--	--	---------------------------------------	--

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円	<p>「Kyoto Japan」 海外戦略プロジェクト 事業 (経済交流課)</p>	<p>カ ベイサイドパークへの企業立地戦略 ベイサイドパーク内への企業立地を促進するとともに、京都舞鶴港の利用を拡充するため、ベイサイドパーク内の企業の取扱貨物に対して助成した。 支援状況 1,441 T E U</p> <p>(4) 日韓露国際フェリー航路利用拡大事業 日韓露国際フェリー航路の利用拡大を図るため、貿易取扱事業者の取扱貨物に対して助成した。 支援状況 1,136 T E U</p> <p>3 執 行 額 129,442,550円 (補助金)</p> <p>1 施策の趣旨等 世界各都市に創設する「京都倶楽部」を中心に、上海ビジネスサポートセンター、ジェット口海外事務所等による海外ネットワークを確立し、海外販路開拓や外資誘致等を戦略的に推進する。 指標：海外販路開拓成約件数 目標：90件 実績：154件</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 「京都倶楽部」創設・育成事業 京都出身者等を中心に世界主要20都市に創設した「京都倶楽部」のネットワークを活用し、現地の情報収集や京都情報の発信を行った。 設立都市 ニューヨーク、シアトル、ロサンゼルス、台北、高雄、香港、北京、上海、蘇州、深圳、ソウル、クアラルンプール、シンガポール、バンコク、ハノイ、ミラノ、フィレンツェ、ミュンヘン、パリ、ロンドン</p> <p>(2) 海外販路開拓事業 ア 海外京都物産展の開催 「京都倶楽部」等のネットワークから得た海外の情報を活用し、台湾・タイ・香港等を中心に物産展等を開催した。 イ 展示会等への出展 ア) イタリア、イギリス、フランス等において、国際見本市への出展や商談会等を実施した。 イ) 香港においてレストランフェア、マレーシアにおいて京都製品のテスト販売等を実施した。 海外京都物産展及び展示会等の成約件数 62件</p> <p>(3) 上海ビジネスサポートセンター事業 対日投資促進、京都製品の販路開拓、観光インバウンド促進のための中国拠点として、府内中小企業への伴走型支援を実施した。</p>

			<p>Invest Kyoto 推進事業 (経済交流課)</p>	<p>設置場所 中国・上海市 成約件数 47件</p> <p>(4) 海外ビジネスサポートセンター事業 海外展開に取り組む企業の個別支援やバイヤー招聘による商談会等の実施により、市場開拓を促進した。</p> <p>設置場所 公益財団法人京都産業21内 成約件数 45件</p> <p>(5) ジェトロ京都運営事業 オール京都(府・市・商工会議所等)でジェトロ京都貿易情報センターの運営を支援するとともに、府内企業の貿易相談対応や海外進出支援、海外販路開拓(商談会、セミナー開催等)を実施した。</p> <p>3 執行額 84,952,500円 (うち補助金 67,000,000円)</p> <p>1 施策の趣旨等 新たなビジネスモデルや先端技術を持つ外国企業を府内に誘致し、京都企業とのビジネスマッチングや大学・研究機関との協同研究を促進することにより、様々な産業分野でイノベーションを創出する。</p> <p>指標：年間誘致件数 目標：5件 実績：5件</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 京都外資誘致促進拠点の整備 ジェトロの外国企業誘致コーディネーターや府が雇用する外資誘致推進員を配置した対日投資促進拠点を整備した。</p> <p>拠点場所 京都リサーチパーク(ジェトロ京都貿易情報センター内) 拠点機能 ジェトロとの連携による対日投資案件の情報収集、外資系企業の京都視察対応等</p> <p>(2) 海外人材の招へい等 ア 外国企業経営幹部等を京都へ招へいし、京都の投資環境等の説明、関係機関等の視察及び意見交換を実施した。 招へい国 中国、アメリカ、フランス・ドイツ・スペイン等EU11ヶ国 イ ジェトロ等主催の海外での対日投資セミナーにおいて京都の投資環境をPRした。 実施国 中国、台湾(台北・台中・高雄) ウ 台湾中華経済研究院等との合同ビジネスセミナーの開催</p> <p>(3) 新規立地外国企業への支援 府への立地を決めた外国企業に対し、ジェトロを通じて拠点設立のための専門家派遣、設立準備のためのテナポリャーオフィス(仮営業所)の家賃補助等を実施した。</p>
--	--	--	--------------------------------------	--

科 目	予算現額	決算額	主要な施策	施策の実施状況と成果等																											
	円	円		<p>3 執行額 9,283,228円 (うち負担金 6,620,000円)</p>																											
<p>3 中小企業振興費 (P162)</p>	<p>94,133,952,000 (94,636,572,000) 翌年度への繰越事業費繰越額 157,182,000 (中小企業経営力強化事業費)</p>	<p>93,954,559,332 (94,457,076,088) 決算額の財源内訳 国庫支出金 57,034,298 諸収入 92,000,000,000 一般財源 1,897,525,034</p>	<p>中小企業金融支援事業 (商業・経営支援課) (産業立地課)</p> <p>中小企業総合応援事業 (産業労働総務課) (商業・経営支援課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 府内の中小企業者等の経営安定や開業等を支援するため、京都市・金融機関・京都信用保証協会・支援機関との連携による各種融資制度を整備し、オール京都体制で中小企業金融の円滑化を図る。</p> <p>2 施策の実施状況 府内中小企業者等の経営基盤の安定・強化、開業・経営継承を支援するとともに、伝統産業・文化ベンチャー分野の企業支援、府内への企業誘致等を図るための資金融資を実施した。</p> <table border="0"> <tr> <td>中小企業経営安定・強化等資金</td> <td>6,616件</td> <td>115,737,889,000円</td> </tr> <tr> <td>うち小規模企業おうえん資金</td> <td>2,241</td> <td>11,907,799,000</td> </tr> <tr> <td>あんしん借換資金(緊急枠)</td> <td>958</td> <td>22,662,480,000</td> </tr> <tr> <td>あんしん借換資金(セーフティネット枠)</td> <td>601</td> <td>19,567,615,000</td> </tr> <tr> <td>開業・経営継承支援資金</td> <td>121</td> <td>569,910,000</td> </tr> <tr> <td>文化産業振興資金</td> <td>7</td> <td>163,540,000</td> </tr> <tr> <td>一般資金</td> <td>2,508</td> <td>53,436,486,000</td> </tr> <tr> <td>雇用のための企業立地促進資金</td> <td>1</td> <td>40,000,000</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>6,617</td> <td>115,777,889,000</td> </tr> </table> <p>3 執行額 92,003,000,000円 (うち貸付金 92,000,000,000円)</p> <p>1 施策の趣旨等 商工会及び商工会議所が行う小規模事業者の経営又は技術の改善発達のための事業、商工会連合会が行う商工会の運営指導事業及び京都府中小企業団体中央会が実施する中小企業等協同組合等の活発化に対して助成するとともに、オール京都体制で「中小企業応援隊」による経営改善等の取組を支援することにより、地域経済を支える小規模企業・中小企業の経営安定と発展を推進する。</p> <p>指標：中小企業応援隊による実訪問企業数 目標：30,000社 実績：23,543社 指標：中小企業応援隊による延べ訪問件数 目標：55,000件 実績：55,190件</p>	中小企業経営安定・強化等資金	6,616件	115,737,889,000円	うち小規模企業おうえん資金	2,241	11,907,799,000	あんしん借換資金(緊急枠)	958	22,662,480,000	あんしん借換資金(セーフティネット枠)	601	19,567,615,000	開業・経営継承支援資金	121	569,910,000	文化産業振興資金	7	163,540,000	一般資金	2,508	53,436,486,000	雇用のための企業立地促進資金	1	40,000,000	合計	6,617	115,777,889,000
中小企業経営安定・強化等資金	6,616件	115,737,889,000円																													
うち小規模企業おうえん資金	2,241	11,907,799,000																													
あんしん借換資金(緊急枠)	958	22,662,480,000																													
あんしん借換資金(セーフティネット枠)	601	19,567,615,000																													
開業・経営継承支援資金	121	569,910,000																													
文化産業振興資金	7	163,540,000																													
一般資金	2,508	53,436,486,000																													
雇用のための企業立地促進資金	1	40,000,000																													
合計	6,617	115,777,889,000																													

2 施策の実施状況

(1) 中小企業応援隊事業

中小企業応援隊が中小企業や商店街等の強みや弱みを把握した上で、中小企業の経営安定や発展を支援するため、訪問コンサルティングを実施した。

ア 中小企業応援隊の概要

(ア) 構成 商工会、商工会議所、京都府商工会連合会、京都府中小企業団体中央会及び公益財団法人京都産業21の経営指導を担当する職員を応援隊員として委嘱

(イ) 隊員数 280人

イ 平成28年度訪問件数等

実訪問企業数 23,543社

延べ訪問件数 55,190件

(業種別内訳)

製造業 15,955件

建設業 5,869

小売業 14,915

卸売業 2,776

サービス業 13,525

その他 2,150

(2) 中小企業知恵の経営ステップアップ事業

中小企業等の成長段階に応じた販売促進・設備更新・コスト削減等の経営改善につながる取組や創業・第二創業を支援するため、中小企業応援隊による訪問コンサルティングを通じた助成支援を実施した。

交付件数 667件

交付額 118,321千円

(3) 商工会、商工会議所等育成等事業

小規模事業者の経営改善等を推進する事業に対して助成した。

ア 商工会及び商工会議所が行う小規模事業者のための経営改善普及事業

(ア) 交付団体 京都商工会議所、京丹后市商工会など 28団体

交付額 1,407,606千円

(イ) 経営支援員の配置状況

経営支援員

商工会(20箇所) 105人

商工会議所(8) 87

計 192

(ウ) 活動状況

経営改善等相談指導 47,939件

創業指導 1,683

記帳指導 7,435

金融のあっせん 741

あっせん金額 5,640,900,000円

科 目	予算現額 円	決算額 円	主要な施策	施策の実施状況と成果等
				<p>講習会・講演会等の開催 2,046回 事業主の事務代行 2,527事業所 大都市対策特別普及振興事業 1件 地域振興推進事業 17 倒産防止対策事業 商工調停士の委嘱 17人 相談件数 116件</p> <p>イ 京都府商工会連合会が行う運営指導事業 (ア) 交付団体 京都府商工会連合会 交 付 額 180,293千円 (イ) 商工会指導員等の配置状況 商工会指導員 専門経営指導員 補助員 計 7人 4人 2人 13人 (ウ) 活動状況 商工会現地指導 1,189回 研修会・講習会 30 広域センター指導 776件 倒産防止対策事業 商工調停士の委嘱 5人 相談件数 15件</p> <p>(4) 中小企業団体中央会等育成指導事業 中小企業等協同組合等の活発化を図るため、中小企業の組織化や組合等への指導・支援事業に対して助成した。 ア 交付団体 京都府中小企業団体中央会 交 付 額 157,253千円 イ 指導員等の配置状況 巡回指導員 労働指導員 商店街指導員 職員 計 13人 1人 4人 4人 22人 ウ 活 動 状 況 協同組合等の設立・運営指導 指導件数 4,633件 組合相談室の設置運営 相談件数 2,636 地域産業実態調査事業 研究会開催件数 6回 実態調査 1件 個別専門指導 5組合 講習会・研究会の開催 開催件数 25回 中小企業関連情報伝達事業 情報連絡員 42人 京都ブランド・新分野開拓事業 2件</p> <p>(5) 知恵ビジネス成長支援事業 高付加価値型京都産業の実現を図るため、京都商工会議所を中心とした「知恵ビジネス」の啓発・育成事業に対して助成した。 ア 交付団体 京都商工会議所 交 付 額 12,000千円</p>

			<p>「京都ほんまもん祭」 開催支援事業 (商業・経営支援課)</p>	<p>イ 知恵ビジネスプランコンテストの実施 応募総数 76件 認 定 6</p> <p>ウ 知恵産業・経営大会 開催日 平成28年9月26日 参加者 約1,000人</p> <p>3 執 行 額 1,894,526,034円 (うち補助金 1,878,219,440円)</p> <p>1 施策の趣旨等 京都国立博物館120周年とタイアップした、府内キャラクター大集合による集客イベントと併せ、農商工連携による大物産展の開催を支援し、消費喚起を図る。 指標：来場者数 目標：10,000人 実績：7,245人</p> <p>2 施策の実施状況 京都国立博物館で開催する大物産展「京都ほんまもん祭」に対して助成した。 開催日時 平成29年3月18日 開催場所 京都国立博物館 庭園 主 催 京都国立博物館、府、京都府商工会連合会、京都府商工会議所連合会 開催内容 府内各地のグルメ・特産品等の販売・宣伝広報活動 開催内容 40を超えるキャラクターによる地域の魅力発信 開催結果 出店ブース数 60ブース 来場者数 7,245人 売 上 3,540千円</p> <p>3 執 行 額 7,000,000円 (補助金)</p> <p>1 施策の趣旨等 地域経済の活性化を目的に、「攻めの経営」を目指す中堅・中小企業に対し、中核人材のマッチング支援を図る。</p> <p>2 施策の実施状況 (1) 拠点運営事業 人材確保を支援する拠点「京都府プロフェッショナル人材戦略拠点」を公益財団法人京</p>
			<p>中小企業戦略的人材確保支援事業 (ものづくり振興課)</p>	<p>イ 知恵ビジネスプランコンテストの実施 応募総数 76件 認 定 6</p> <p>ウ 知恵産業・経営大会 開催日 平成28年9月26日 参加者 約1,000人</p> <p>3 執 行 額 1,894,526,034円 (うち補助金 1,878,219,440円)</p> <p>1 施策の趣旨等 京都国立博物館120周年とタイアップした、府内キャラクター大集合による集客イベントと併せ、農商工連携による大物産展の開催を支援し、消費喚起を図る。 指標：来場者数 目標：10,000人 実績：7,245人</p> <p>2 施策の実施状況 京都国立博物館で開催する大物産展「京都ほんまもん祭」に対して助成した。 開催日時 平成29年3月18日 開催場所 京都国立博物館 庭園 主 催 京都国立博物館、府、京都府商工会連合会、京都府商工会議所連合会 開催内容 府内各地のグルメ・特産品等の販売・宣伝広報活動 開催内容 40を超えるキャラクターによる地域の魅力発信 開催結果 出店ブース数 60ブース 来場者数 7,245人 売 上 3,540千円</p> <p>3 執 行 額 7,000,000円 (補助金)</p> <p>1 施策の趣旨等 地域経済の活性化を目的に、「攻めの経営」を目指す中堅・中小企業に対し、中核人材のマッチング支援を図る。</p> <p>2 施策の実施状況 (1) 拠点運営事業 人材確保を支援する拠点「京都府プロフェッショナル人材戦略拠点」を公益財団法人京</p>

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円		<p>都産業21に設置するほか、中核人材ニーズの把握からマッチング後のサポートを行う人員を配置した。</p> <p>(2) 戦略的人材確保支援事業 中核人材を紹介する民間人材紹介会社と連携し、中核人材に関するマッチングを実施した。 民間人材紹介会社登録社数 8社 相談企業数 237 民間人材紹介会社への取り繋ぎ件数 56件 人材マッチング成約件数 21 人材マッチング継続支援件数 172</p> <p>(3) 事業継続支援事業 京都府プロフェッショナル人材戦略協議会等を開催し、地域の金融機関、経済団体等と支援協力体制を整備するほか、企業の事業承継と成長戦略に係るセミナーや専門家派遣、事業承継特別相談事業等を実施した。 経営者向けセミナーの開催 4回 事業承継特別相談 7回(7カ所) 専門家派遣事業 29社、107回</p> <p>3 執 行 額 50,033,298円 (委託料)</p>
2 観 光 費 1 観 光 費 (P166)	343,834,000 (709,572,000) 翌年度への繰越 事業費繰越額 2,000,000 (中北部観光PR) 事業費	339,568,047 (702,608,137) 決算額の財源 内訳 国庫支出金 150,339,000 一 般 財 源 189,229,047	京都・花灯路推進事業 (観光政策課)	<p>1 施策の趣旨等 京都の歴史的文化遺産をつなぐルートを風情のある灯りで演出し、寺院・神社における夜間拝観等とタイアップした観光イベントを地元や府民、企業等の参加のもとに実施することにより、閑散期における京都への観光誘客を図る。</p> <p>指標：京都・嵐山花灯路来場者数 目標：150万人 実績：約119万人 指標：京都・東山花灯路来場者数 目標：150 実績：" 111</p> <p>2 施策の実施状況 京都への観光誘客を推進するため、花灯路用に整備した照明器具を貸与し、観光振興や地域振興のための催事等を支援する「灯りの催事奨励事業」を実施した。 開催地域・時期等 嵯峨・嵐山地域 平成28年12月9日～18日 来場者数約119万人 東山地域 平成29年3月3日～12日 " 111 貸出照明器具数 41団体 延べ4,901基</p>

			<p>京の七夕事業 (観光政策課)</p>	<p>3 執行額 16,000,000円 (分担金)</p> <p>1 施策の趣旨等 諸技芸上達などを願う七夕にちなみ、平和や環境保全の願いを京都から世界に発信する京都ならではの新しい「七夕」事業をオール京都で実施し、夏の閑散期に多くの観光客を京都に迎え、京都の観光振興を図る。</p> <p>指標:「京の七夕」来場者数 目標:80万人 実績:約53万人</p> <p>2 施策の実施状況 京都市内の鴨川河川敷、堀川遊歩道等を会場に、京都の夏の風物詩として、「七夕」にちなんだ「竹」と「灯り」で演出し、京都への観光誘客を推進した。</p> <p>開催期間 平成28年8月6日～12日(前年より期間を3日間縮小) 開催場所 鴨川会場(御池大橋～四条大橋) 堀川会場(御池通～今出川通) 夜間拝観等実施の寺院・神社、七夕事業に協賛の商店街等 来場者数 約85万人(うち鴨川・堀川の2会場 約53万人)</p> <p>3 執行額 50,000,000円 (分担金)</p> <p>1 施策の趣旨等 府北部地域で開催するサイクリングイベントへの参加者に対するおもてなし事業を実施し、府域への誘客につなげ、地域の活性化を推進する。</p> <p>指標:「TANTANロングライド」への参加者数 目標:1,600人 実績:1,527人</p> <p>2 施策の実施状況 丹後、中丹地域への誘客を図るため、「TANTANロングライド」への参加者に対するおもてなし事業を実施した。</p> <p>イベント名 海の京都 TANTANロングライド2016 実施時期 平成28年6月4日～5日(前日祭6月4日) 開催コース 宮津市天橋立付近を発着地とする2種類のコース Aコース 中丹・丹後地域一周約190km Bコース 丹後地域一周約100km 参加者数 1,527人(Aコース 413人 Bコース 1,114人) 事業内容 府立高校による吹奏楽演奏、丹後七姫劇団による太鼓演奏、エイドステーション及びゴールにおける地元産品のふるまい等</p>
--	--	--	---------------------------	--

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円	<p>「海の京都」観光推進事業 (観光政策課)</p>	<p>3 執行額 2,000,000円 (分担金)</p> <p>1 施策の趣旨等 平成26年7月に「海の京都観光圏」として認定された府北部地域において、京都縦貫自動車道全線開通、京都舞鶴港の整備進捗、京都丹後鉄道の運行等による人・ものの流れの増大を最大限活かして、「海の京都」をテーマに府北部地域を魅力ある観光圏とするため、観光関連事業を総合的・計画的に実施することにより、観光誘客を図る。</p> <p>指標：観光入込客数 共通目標：9,000万人 実績：8,741万人 観光人材の確保・育成等事業、旅館等受入環境整備事業、京都府スポーツ観光推進事業、位置情報観光活用システム構築事業と共通の目標</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 「海の京都観光推進協議会」推進事業 府北部地域の観光振興を図るため、一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社（海の京都DMO）が行う事業に対して助成した。</p> <p>ア マーケティング調査事業 GPS情報を活用した観光客動向調査、顧客満足度調査等 事業数 3事業</p> <p>イ 旅行商品等造成・販売促進、物産等物販事業 システム構築数 2件（旅行商品販売システム、宿泊予約システム） ガイド育成研修 2回</p> <p>ウ インバウンド推進事業 現地旅行社・メディアへの訪問件数 27社 ガイドブック作成 45,000部 受入対応セミナー 2回 海の京都関連商品の取扱社数 11社</p> <p>エ 人材育成・確保・地域づくり事業 おもてなしセミナー等 8回</p> <p>オ 情報発信・プロモーション事業 ツーリズムEXPOジャパンへの出店 ブース来訪者1,000人 広報物・ノベルティ作成 8種類 ラジオ等へのプロモーション 3局 雑誌等への記事・広告掲載 3回 モニターツアー実施 1回 等</p> <p>(2) 「海の京都博」後祭事業</p>

			<p>無形文化遺産「和食」 発信事業 (観光政策課)</p>	<p>海の京都のコンセプトである「天地山海にいきづく和の源流」のさらなる発信・定着のため、前年開催の「海の京都博」の盛り上がりを引き継ぐイベントとして、地域に伝わる羽衣伝説をモチーフとしたウォータープロジェクションショーを開催し、観光誘客を図った。</p> <p>開催期間 平成28年7月8日、9日(各日2回) 開催場所 京丹後市 久美浜湾岸 参加者数 約18,300人(うち8日8,800人、9日9,500人)</p> <p>3 執行額 61,297,847円 (うち分担金 60,800,000円)</p> <p>1 施策の趣旨等 「和食」のユネスコ無形文化遺産への登録を契機に、和食文化を保護し次の世代に継承するとともに、京都の食文化の魅力発信し、観光誘客や産業振興を図る。</p> <p>指標：京都・和食の祭典の参加者数 目標：6,000人 実績：約8,000人</p> <p>2 施策の実施状況 (1) 「京都・和食の祭典」開催事業 和食の真髄である京料理をはじめ和食の魅力を感じられる多角的なイベントを実施した。 開催日 平成29年3月5日 開催場所 建仁寺 開催内容 京料理体験、和食文化シンポジウム、和食ブース等 参加者数 約8,000人 (2) 和食文化海外発信事業 平成29年度に京都で開催予定の「第6回日本料理コンペティション・決勝大会」を通じて和食文化を国内外に広くPRするため、同コンペティションの広報事業に対して助成した。 交付団体 特定非営利活動法人日本料理アカデミー 交付額 3,000千円</p> <p>3 執行額 13,000,000円 (うち分担金 10,000,000円 補助金 3,000,000円)</p>
			<p>鴨川納涼事業 (観光政策課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 京都の夏の風物詩として府民や観光客に定着している「鴨川納涼」を「京の七夕」と一体的に開催し、河川愛護・環境保全の啓発並びに全国及び府内の観光・物産の振興を図り、交流と憩いの場を提供する。</p>

科 目	予算現額	決算額	主要な施策	施策の実施状況と成果等									
	円	円	<p>「新しい京の旅」創造事業 (観光政策課)</p>	<p>指標：「鴨川納涼」来場者数 目標：26万人 実績：約21万人</p> <p>2 施策の実施状況 鴨川右岸河川敷（三条～四条）において、全国物産展、参加型ステージイベント等の実施により賑わい創出を図った。 開催時期 平成28年8月6日～7日 開催場所 鴨川三条大橋～四条大橋 右岸河川敷一帯 開催内容 河川愛護・環境保全の普及啓発、各県人会・府内市町村等からの物産出展、友禅流し実演（京都染織青年団体協議会）、ステージイベント 来場者数 約21万人</p> <p>3 執行額 13,800,000円 (分担金)</p> <p>1 施策の趣旨等 京都第二外環状道路（にそと）開通や京都縦貫自動車道全線開通を契機とし、地域の豊富な観光資源を活かした府内各地の魅力を満喫できる新たな観光誘客を推進する。</p> <table border="0" data-bbox="1099 821 2016 917"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>目 標</th> <th>実 績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「京都・西の観光」の魅力発信ツアーの実施企画数</td> <td>10企画</td> <td>19企画</td> </tr> <tr> <td>淀川三川交流地域拠点施設等の情報発信やイベント実施企画数</td> <td>2</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 京都・西の観光推進事業 交通網の整備が進む「京都・西の観光エリア」の観光振興を図るため、市町、交通事業者、観光関連事業者で構成する「京都・西の観光推進協議会」による観光誘客事業を実施した。</p> <p>ア 観光プロモーション事業 実施時期 平成28年10月15日、11月23日 実施場所 嵐電嵐山駅、道の駅・味夢の里 実施内容 観光パンフレット配布、ご当地キャラ大集合によるPR、「広域スタンプラリー事業」のPR</p> <p>イ 京都・西の観光スタンプラリー事業 実施時期 平成28年11月15日～平成29年2月12日 参加者 107人 応募者数 41</p> <p>(2) 広域連携観光誘客事業</p>	指 標	目 標	実 績	「京都・西の観光」の魅力発信ツアーの実施企画数	10企画	19企画	淀川三川交流地域拠点施設等の情報発信やイベント実施企画数	2	4
指 標	目 標	実 績											
「京都・西の観光」の魅力発信ツアーの実施企画数	10企画	19企画											
淀川三川交流地域拠点施設等の情報発信やイベント実施企画数	2	4											

			<p>地域構想推進美観事業 (観光政策課)</p>	<p>広域からの観光誘客を図るため、京都・福井・滋賀の3府県連携事業「京都・若狭路・びわ湖ぐるっとドライブキャンペーン2016」を実施した。</p> <p>(3) 乙訓周遊観光バス推進事業 「京都・西の観光」エリアの周遊観光バスツアー運行事業に対して助成した。 交付件数 2件 交付額 1,500千円 実施時期 平成28年11月10日、15日、24日、12月6日、8日、13日、15日、17日 平成29年1月21日、2月21日、23日、24日、25日、26日、3月17日 9コース(延べ19日運行) 乗客数 328人</p> <p>(4) 八幡・乙訓四季の彩り事業 淀川三川合流域拠点施設(八幡市)のオープン(平成29年3月)を見据え、四季を通じて拠点周辺エリアの観光情報発信事業等を実施した。 ア 「背割堤さくら祭」でのもうひとつの京都PR イ 「淀川三川ふれあい納涼七夕まつり」主催の実行委員会へ補助し、イベントやブースの規模拡大、広報充実に支援 ウ 「淀川三川合流域 秋の満喫プラン観光」においてパンフレット配架等観光PR エ 乙訓エリアと八幡市(さくらであい館)を結ぶ無料バス「かぐや姫・さくら周遊バス」運行に対する助成</p> <p>3 執行額 8,475,168円 (うち補助金 3,900,000円 負担金 4,500,000円)</p> <p>1 施策の趣旨等 「海の京都」「森の京都」「お茶の京都」などの地域構想を推進し、それぞれの地域を魅力あるエリアとするため、統一コンセプトに基づく魅力ある景観形成を推進する。 指標：外装改修件数 目標：15件 実績：10件</p> <p>2 施策の実施状況 魅力ある景観形成に資する観光関連施設の外装改修等の修景に対して助成した。 交付件数 10件(海の京都9件、お茶の京都1件) 交付額 11,131千円</p> <p>3 執行額 11,131,000円 (補助金)</p>
--	--	--	-------------------------------	---

科 目	予算現額	決算額	主要な施策	施策の実施状況と成果等
	円	円	旅館・ホテル等耐震化 緊急支援事業 (観光政策課)	1 施策の趣旨等 府域の観光を支える旅館・ホテル等の安心・安全対策の取組を促進し、滞在型観光の着実な進展を図るため、府内の旅館・ホテル等の耐震対策を支援する。 2 施策の実施状況 中小企業で地域の観光振興に寄与する旅館・ホテル等を対象に、市町村が実施する耐震化支援事業に対して助成した。 交付件数 2件 交付額 4,226千円 3 執行額 4,226,000円 (補助金)
			「森の京都」観光推進 事業 (企画理事付) (観光政策課)	1 施策の趣旨等 「森の京都」のターゲットイヤーにおいて、「森の京都博」と連携しながら、「森の京都」の知名度アップ、ブランドイメージの向上により、観光誘客を促進する。 指標：「森の京都」観光ツアー等の実施企画数 目標：5企画 実績：14企画 指標：「森の京都」記事掲載等の実施企画数 目標：10 実績：14 2 施策の実施状況 (1) 「森の京都」魅力発信事業 「森の京都」の魅力を国内外に広くPRするため、森の京都総合ウェブサイトの多言語化、プロモーションライブラリーのコンテンツ制作、観光パンフレット・ポスター等の広報ツールの作成等を実施した。 (2) 「森の京都」ツアー造成事業 「森の京都」の拠点を中心に、地域の魅力を発信するツアーコースを造成するため、旅行会社等の募集型・受注型企画旅行に対する助成等を実施するとともに、観光拠点の魅力を発信できる「観光ガイド」を育成した。 ア ツアーコースの造成 交付件数 47件 交付額 1,410千円 ツアーコース造成数 29種類 イ 観光ガイドの育成 研修会 2回 モニターツアー 1 参加者数 23人(応募者数 92人)

			<p>「お茶の京都」観光推進事業 (企画理事付 観光政策課)</p>	<p>3 執行額 14,000,000円 (うち負担金 5,500,000円 補助金 8,500,000)</p> <p>1 施策の趣旨等 平成29年度の「お茶の京都」のターゲットイヤーに向けて、山城地域のお茶の魅力を生かした「お茶の京都」観光プロモーション等を実施し、「お茶の京都」の知名度アップ、ブランドイメージの形成により、観光誘客を促進する。</p> <p>指標：「お茶の京都」観光ツアーの実施企画数 目標：3企画 実績：7企画 指標：「お茶の京都」記事掲載等の実施企画数 目標：5 実績：8</p> <p>2 施策の実施状況 「お茶の京都」の魅力を広くPRするため、お茶の京都総合ウェブサイトの多言語化、「お茶の京都」フィルムライブラリーのコンテンツ制作、物産展でのプロモーション、観光パンフレットの作成、「お茶所パス」の運行及びガイド、ラッピングバスの制作によるプロモーション等の広報事業を実施した。</p> <p>3 執行額 7,000,000円 (うち負担金 5,500,000円 補助金 1,500,000)</p> <p>1 施策の趣旨等 急増する外国人観光客を地域に呼び込む仕掛けづくりを行い、その旺盛な消費を地域や中小企業の隅々にまで行き渡らせることで、観光消費拡大による地方創生の実現を図る。</p> <p>指標：外国人宿泊客数 目標：208万人 実績：326万人 観光入込客数 目標：9,000 実績：8,741</p> <p>2 施策の実施状況 (1) 観光情報集約・発信事業 海外から京都府域への更なる誘客を促進するため、海外における京都府情報発信拠点の設置、各種プロモーション等を実施した。</p> <p>海外情報発信拠点 2箇所(香港、台湾) 海外メディア等と連携したプロモーション 平成28年11月～平成29年3月(台湾) 海外京都展と連携したプロモーション 平成29年1月(タイ)、同年2月(香港) 多言語ホームページの作成</p>
			<p>インバウンド対策強化事業費 (観光政策課)</p>	

科 目	予算現額 円	決算額 円	主要な施策	施策の実施状況と成果等
				<p>(2) 多言語対応等環境整備支援事業 外国人観光客の受入環境整備を推進するため、観光案内所等を対象としたWi-Fi整備等への助成事業や宿泊施設向け通訳サービス事業を実施した。</p> <p>ア Wi-Fi整備・多言語対応環境整備支援事業 交付件数 10件 (Wi-Fi整備 9件、多言語対応環境整備 1件) 交付額 215千円</p> <p>イ 宿泊施設向け通訳サービス事業 事業内容 宿泊施設事業者が利用できる24時間通訳コールセンター(英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語)を整備 利用件数 29件(通訳25件、翻訳4件)</p> <p>(3) アジア等からの誘客促進事業 アジア地域からの観光誘客を推進するため、関西広域連合構成府県との連携によるトッププロモーション等の実施や日本的なウェディング「和婚」の海外PRを実施した。 トッププロモーション 1回 平成28年8月(台湾・香港) 海外メディア等の招請 2 平成28年12月(フランス5名、香港3名) 海外でのウェディングセミナーへの参加 1回 平成28年10月(香港) 和婚プロモーション 1回 平成29年2月(香港)</p> <p>(4) 海外からの教育旅行誘致促進事業 海外からの教育旅行誘致を推進するため、海外の学校交流関係者の招請や各種プロモーションを実施した。 学校交流 40件 教育旅行海外プロモーション 2回 平成28年6月(台湾)、平成29年2月(香港) 海外の学校関係者招請 8人 平成28年10月(台湾) 旅行会社関係者招請 4社 平成29年1月</p> <p>(5) 京都文化交流・コンベンション推進事業 MICE誘致の充実強化を図るため、公益財団法人京都文化コンベンションビューローが実施する国際会議誘致活動や企業インセンティブツアー等の取組に対して助成した。 国際会議開催件数 平成28年 280件 参加者数 208,301人(うち海外27,167人)</p> <p>(6) MICE誘致事業 地域への経済波及効果が高い国際会議開催の効果を府内全域へ広げるため、府域でのコンベンション・分科会等の開催や会議等に付随する観光ツアーに対して助成した。 観光ツアーや交流事業等のエクスカージョンに対する支援を行うことで、将来的に京都府への再訪の促進に寄与する。 交付件数 15件(コンベンション7件、エクスカージョン8件) 交付額 1,938千円</p>

			<p>観光人材の確保・育成等事業 (観光政策課)</p>	<p>3 執行額 103,124,000円 (うち負担金 33,420,000円 補助金 57,506,000円)</p> <p>1 施策の趣旨等 深刻化する観光産業の人手不足対策及び経営革新支援として、経営者や従業員教育に資するセミナーを開催し、観光産業の人材確保及び育成の支援を図る。</p> <p>指標：観光入込客数 共通目標：9,000万人 実績：8,741万人 「海の京都」観光推進事業、旅館等受入環境整備事業、京都府スポーツ観光推進事業、位置情報観光活用システム構築事業と共通の目標</p> <p>2 施策の実施状況 地域の観光産業の核となる若手経営者・リーダーの育成、観光産業従事者のスキルアップ等を図るため、公益社団法人京都府観光連盟が実施するセミナー・講座に対して助成した。</p> <p>(1) 京都府観光経営入門セミナー 開催趣旨 京都大学をはじめ観光・経営関連の著名講師陣による人的資源管理、マーケティング、経営戦略などの分野の授業を通じて、基礎のみならず実践的な知識を学び、京都の観光産業をさらに発展させる人材の育成を図る。</p> <p>開催期間 平成28年9月12日～14日 受講者数 22人</p> <p>(2) 京都観光おもてなし講座 開催趣旨 京都府内の宿泊施設・飲食店等の観光産業従事者を対象として、観光客をお迎えするためのおもてなしの向上や、訪日機会の多い国の習慣や文化を学ぶとともに、対処方法を国別に紹介するなど、インバウンドに関する研修を実施することで、訪日外国人観光客の受入体制の強化とおもてなしの向上を図る。</p> <p>開催回数 4回 受講者数 延べ103人</p> <p>3 執行額 10,390,000円 (補助金)</p> <p>1 施策の趣旨等 地域にふさわしい宿泊施設としてのモデルケースの視察や旅館等の魅力発信事業を実施することで、「京都民泊対策協議会」と連動し、健全な宿泊事業者の育成と利用促進を図る。</p> <p>指標：観光入込客数 共通目標：9,000万人 実績：8,741万人 「海の京都」観光推進事業、観光人材の確保・育成等事業、京都府スポーツ観光推進事業、位置情報観光活用システム構築事業と共通の目標</p> <p>2 施策の実施状況 健全な宿泊事業者の育成を図るため、公益社団法人京都府観光連盟が実施する地域の特色</p>
			<p>旅館等受入環境整備事業 (観光政策課)</p>	

科 目	予算現額	決算額	主要な施策	施策の実施状況と成果等
	円	円		<p>を活かした飲食・体験の提供等を行う宿泊施設への視察事業や旅館等の魅力を多言語（英語、中国語繁体字・簡体字、韓国語）で情報発信するホームページの制作に対して助成した。</p> <p>3 執行額 4,000,000円 (補助金)</p>
			<p>京都府スポーツ観光推進事業 (観光政策課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 スポーツ観光の聖地づくりを積極的に進める市町村を支援し、スポーツ観光を通じた交流人口を拡大することにより、地域の活性化を図る。</p> <p>指標：観光入込客数 共通目標：9,000万人 実績：8,741万人 「海の京都」観光推進事業、観光人材の確保・育成等事業、旅館等受入環境整備事業、位置情報観光活用システム構築事業と共通の目標</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) スポーツ観光聖地づくり推進事業 市町村が策定する「スポーツ観光聖地化プラン」に基づき、スポーツ観光をテーマに交流人口の拡大や地域産業の振興等を推進する事業に対して助成した。 交付市町数 2市町（京丹後市・和束町） 交付額 4,650千円</p> <p>(2) スポーツ・観光情報発信事業 府内におけるスポーツと観光の資源情報を一元的に発信するホームページの開設、スポーツイベントの誘致活動に対して助成した。 交付団体 公益社団法人京都府観光連盟 交付額 5,000千円</p> <p>3 執行額 9,650,000円 (補助金)</p>
			<p>京都観光会議設置事業 (観光政策課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 「京都府観光戦略会議」を創設し、現在の京都府内における観光に係る課題や、今後展開すべき施策について議論し、京都府が戦略的に観光振興を推し進めるための方向性を示す。</p> <p>2 施策の実施状況 京都府観光戦略会議を開催し、有識者等からの意見聴取を実施するため、会議の運営主体である公益社団法人京都府観光連盟に対し助成を行った。 開催日 平成29年1月23日 出席者 京都府旅行業協同組合理事長など、委員・オブザーバー含め12人</p>

			<p>位置情報観光活用システム構築事業 (観光政策課)</p>	<p>内 容 外国人観光客の増加や観光ニーズの多様化など、観光事業を取り巻く環境が劇的に変動する中、府域全体の観光消費額の増加や観光人材の育成・確保、交通アクセスの充実等の方策について有識者から意見を聴取した。</p> <p>3 執 行 額 474,032円 (補助金)</p> <p>1 施策の趣旨等 マスメディアでは取り上げられることの少ない地域の隠れた観光資源等の情報を位置情報システムを活用して収集・発信し、新たな観光誘客を促進する。</p> <p>指標：観光入込客数 共通目標：9,000万人 実績：8,741万人 「海の京都」観光推進事業、観光人材の確保・育成等事業、旅館等受入環境整備事業、京都府スポーツ観光推進事業と共通の目標</p> <p>2 施策の実施状況 (1) 位置情報システムを活用した観光情報の収集事業 市町村、観光協会、商工会議所、商工会等を通じて選任した「京都観光情報応援大使」が発掘・収集した「隠れた観光スポット」を登録することで、その位置情報データを蓄積し、観光PR等に活用できるシステムの構築事業に対して助成した。 交付団体 公益社団法人京都府観光連盟 交 付 額 9,000千円 構築システム 位置情報データベース「こことろ」</p> <p>(2) 集積したデータの活用事業 西日本初の「Pokemon GO」公認の周遊マップ「日本の聖地 天橋立三所詣GOワールドマップ」の作成や、お茶の京都博の開催に向けた、お茶の京都エリアにおける「Pokemon GO」の「ポケストップ」と「ジム」の増設等を実施した。</p> <p>3 執 行 額 11,000,000円 (補助金)</p>									
<p>3 消費生活費 1 消費生活費 (P168)</p>	<p>97,571,000 (282,986,000)</p>	<p>96,951,000 (282,227,900)</p> <p>決算額の財源 内訳 国庫支出金 95,099,858</p>	<p>消費者あんしんサポート事業 (安心・安全まちづくり推進課 消費生活安全センター)</p>	<p>1 施策の趣旨等 様々な団体と連携した地域での消費者見守り活動の強化や消費生活相談の迅速な解決に向けた市町村相談窓口の支援等により、府民の安心・安全な消費生活を実現する。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">指 標</td> <td style="text-align: center;">目 標</td> <td style="text-align: center;">実 績</td> </tr> <tr> <td>消費者被害の救済状況(被害回復件数)</td> <td style="text-align: center;">332件</td> <td style="text-align: center;">337件</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">" (未然防止件数)</td> <td style="text-align: center;">352</td> <td style="text-align: center;">206</td> </tr> </table>	指 標	目 標	実 績	消費者被害の救済状況(被害回復件数)	332件	337件	" (未然防止件数)	352	206
指 標	目 標	実 績											
消費者被害の救済状況(被害回復件数)	332件	337件											
" (未然防止件数)	352	206											

科 目	予算現額	決算額	主要な施策	施策の実施状況と成果等
	円	円 一般財源 1,851,142		<p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 特殊詐欺等被害未然防止対策事業 府民協働防犯ステーションや地域の様々な団体と連携した、高齢者等の見守り活動を実施し、被害の未然防止・早期発見を図った。 暮らしの安心・安全ネットワーク参画団体 221団体 見守り活動実施府民協働防犯ステーション 297箇所 出前講座 104回 3,111人 地域レポートの発行 56</p> <p>(2) 暮らしの安心推進員による地域見守り事業 事業者団体と連携した地域での見守り活動を支援するとともに、高齢者への声かけと早期通報を促進した。 暮らしの安心推進員登録人数 11,857人 暮らしの安心推進員スキルアップ研修 4回</p> <p>(3) 市町村相談センター支援等事業 ア 市町村等相談窓口の支援 消費生活相談センター・窓口運営支援 26市町村、1事務組合 消費生活行政担当者相談員研修会 3日間 137人 苦情処理研究会 3回 55 イ 消費者あんしんチーム事業 解決困難な消費生活相談に対応するため、府・市町村職員及び弁護士で構成する「消費者あんしんチーム」を運営し、弁護士や府相談員による相談サポート等により、事案の早期解決を図った。 弁護士による法令解釈や対処法の助言 313件 府相談員による市町村相談員への助言 142 ウ 休日等消費生活相談事業 架空請求への対応や訪問販売等におけるクーリング・オフの期限が週末にあたること等により、緊急の相談を必要としている消費者が多いことから、京都市と共同して週末の電話相談窓口を設置することで、消費者被害の拡大を防止した。 相談件数 1,351件</p> <p>(4) 事業者指導等による取引の適正化推進事業 ア 悪質な事業者への早期警告等により悪質商法の拡大防止を図った。 事業者指導 文書指導 4件 イ 事業者団体等と連携したコンプライアンス向上のための取組 事業者向けコンプライアンス講習・調査・啓発 9回</p> <p>(5) 消費者教育推進事業 学校や企業等へ出前講座等を行い、消費者教育の受講機会を拡大するとともに、消費者問題に意識の高い大学生リーダーの育成を図った。</p>

				出前講座 195回 参加人数 13,463人	
--	--	--	--	---------------------------	--

3 執行額

96,951,000円
(うち補助金 59,254,000円)